

虐待対応プログラム BEAMS Stage 1,2

“BEAMS”とは、子どもに関わる全ての人々が「子ども虐待」の早期発見・対応ができるように日本子ども虐待医学会が開発したプログラムです。

この“BEAMS”研修は、基礎的な虐待医学を身に付けていただく事を念頭に置いていますが、医療者だけでなく、福祉、司法、教育など様々な分野の方々に身に付けていただき、日常業務の中で子どもたちの小さなサインを見逃さないようにすることが最大の目的です。

“医学的な所見は難しい”“専門家に任せればいい”ではなく、皆さんが見つめ、行動する事で多くの子どもが救われます。医療者以外の方にもわかりやすく説明しますので、受講を御検討下さい。

なお、今年度の診療報酬改定で“小児かかりつけ診療料”の届け出要件の中に“BEAMS”が推奨されました。また、受講していない医療者の方、この機会をお見逃しなく。

日 時：2025年11月14日（金）

Stage 1；18：00～19：00

講師：古野 憲司（福岡赤十字病院）

Stage 2；19：05～20：35

講師：米山 法子（市立秋田総合病院）

会 場：札幌コンベンションセンター

参加費：Stage 1；2,200円（税込）

Stage 2；3,300円（税込）

*** iii小児科領域講習認定申請中***

お申込みは、以下のフォームから

<https://forms.gle/xkJNTLqqD1MEEAuQA>



<お問い合わせ>

日本子ども虐待医学会(JaMSCAN)

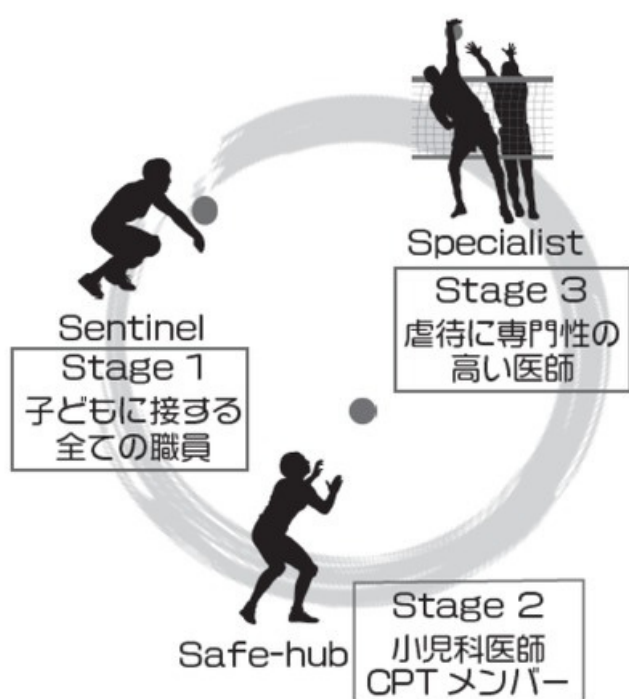
〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-5-31 チェリーヒルズ金田2階B号室

☎ 0463-95-4166 E-mail：info@jamscan.jp



皆で虐待の問題に光を当て
崩れゆく家族を梁のように支え
子どもに心からの笑顔を取り戻してほしい

*beam=光の束、梁、心からの笑顔



Stage 1 :

虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel（見張り番）となる。

Stage 2 :

虐待の可能性のある子ども／親との接し方の基本を学び、地域と家族を適切に繋げる（安全の架け橋：Safe-Hubとなる）こと、ならびに急性期に求められる医学的検査・カテゴリー診断ができるようになる。

Stage 3 :

専門医師として求められる対応を、ロールプレイなどを通し積極的に理解し、実践的対応能力の向上を目指す。
Stage3の修了者は、地域での虐待対応の推進役となることが期待される。

Stage 1 受講者 29,307人
Stage 2 受講者 6,962人
Stage 3 受講者 373人

子ども虐待対応の
共通言語として
全国に広がっています

*2025年3月現在

2つの開催方法

招へい型：医療機関や地域（行政など）から講師派遣を依頼いただく
センター型：日本子ども虐待医学会主催で開催

開催依頼・開催情報や参考資料などはHPへ！

<https://beams.jamscan.jp/>

